

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 井手 久武	電話番号	0852-22-5909
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	特別支援学校校舎等整備事業		
目的	(1) 対象	特別支援学校の児童・生徒	
	(2) 意図	安全・安心で良好な教育環境で学校生活を過ごせるようにする。	
事業概要	知的障がい特別支援学校高等部の生徒の増加に伴う校舎の狭隘化等に対応するため、松江養護学校、出雲養護学校、浜田養護学校で校舎の新增改築を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		43.0	47.0	55.0	55.0	室
	式・定義	取組目標値						
	実績値	18.0	43.0					
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
	実績値							
		達成率	-	100.0	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,512,498	953,226
うち一般財源 (千円)	1,381,169	944,013

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 松江・出雲養護学校2校で仮設校舎4棟をリースするとともに、校舎等の新增改築整備事業を実施している。 狭隘化対策として整備事業を予算化している松江・出雲・浜田養護学校については、順次新棟等の供用開始により狭隘化が解消するとともに学習環境が向上する見込み。 松江養護学校：管理棟工事H29.8月末完了、H29.9月供用開始予定。教室棟新築工事H29.11月～H30.11月予定。 出雲養護学校：第4教育棟・屋内運動場H29.4月供用開始。既存校舎改修工事H29～H30予定。 浜田養護学校：管理教室棟H28.4月供用開始
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>(浜田養護学校：H28で事業完了)</p> <ul style="list-style-type: none"> H27はグラウンド造成工事完了、管理教室棟竣工（供用開始H28.4～）。 H28は既存校舎改修工事完了。 <p>(松江養護学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等部生徒急増に伴い乃木校舎は2棟の仮設校舎で対応。乃木校舎に新たな校舎を整備、既存校舎改修を行う事業を実施中。 H27は本校改修工事実施。 H28は乃木校舎の新管理棟建設工事、木工実習棟改修工事を実施。 <p>(出雲養護学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等部生徒急増に伴い2棟の仮設校舎で対応。新たにグラウンドや校舎を整備、既存校舎改修を行う事業を実施中。 H27はグラウンド造成工事完了。 H28は新校舎（第4教育棟、屋内運動場）竣工（供用開始H29.4～）。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事施工にあたっては、児童・生徒の通学や学習環境の安全の確保等の学校運営に支障を来さないよう十分配慮し、工事の円滑な実施に努める必要がある。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常の学校運営を行いながら長期間の整備事業を行うこと。 工事の進捗状況が学校運営に直接影響を与えること。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画に影響を与える事由が生じた場合においても、学校運営や事業計画に支障が生じないよう適切な事業の進捗管理や関係者間での十分な連携・調整が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 実施中の松江養護学校、出雲養護学校については、これまで通り関係者間の連携・調整を行い円滑に事業を実施する。
